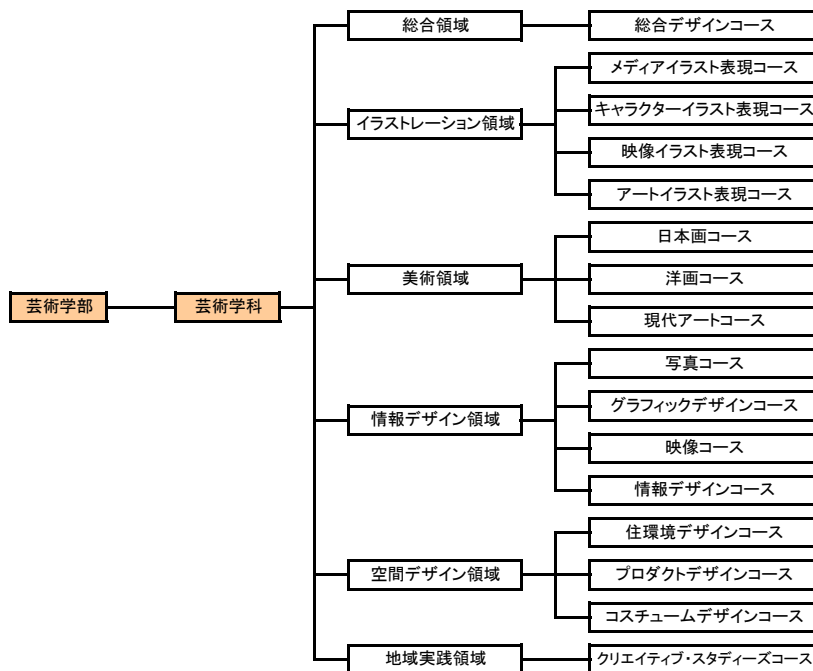


●学部・学科の名称●

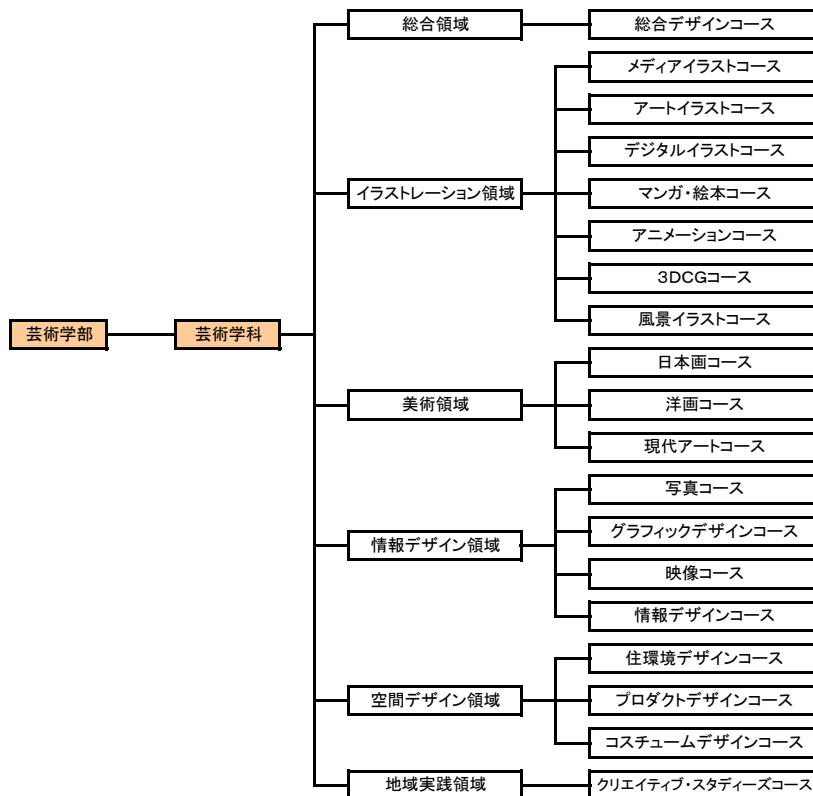
学部名	学科名
芸術学部 (Faculty of Art)	芸術学科 (Department of Art)

●学部・学科の構成●

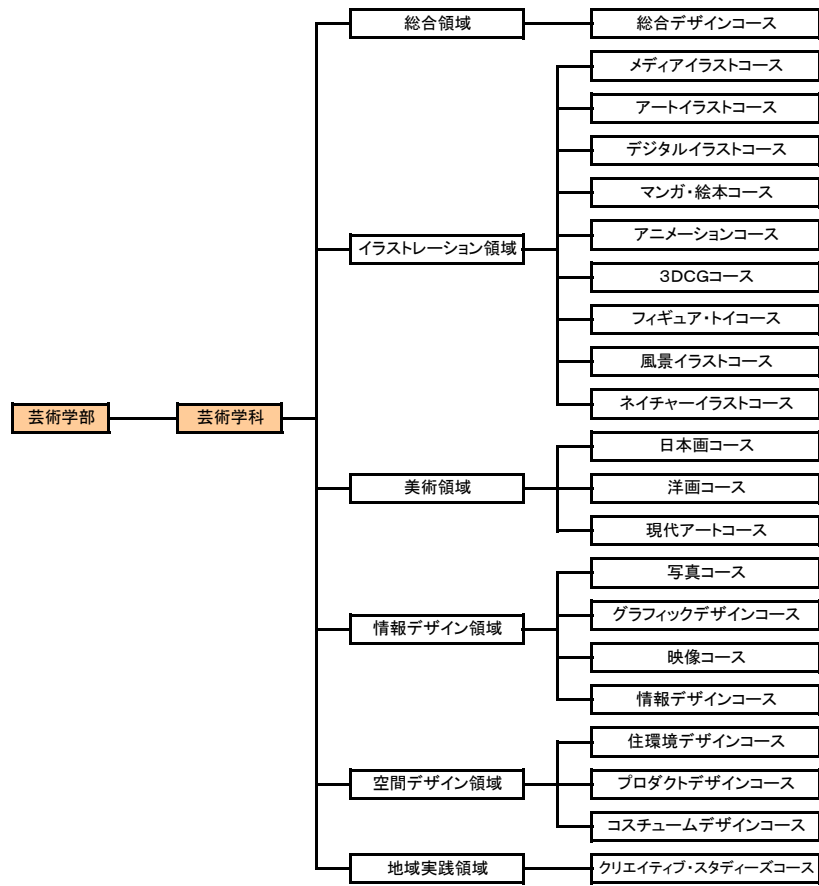
【芸術学部 令和5(2023)年度以降の入学生】



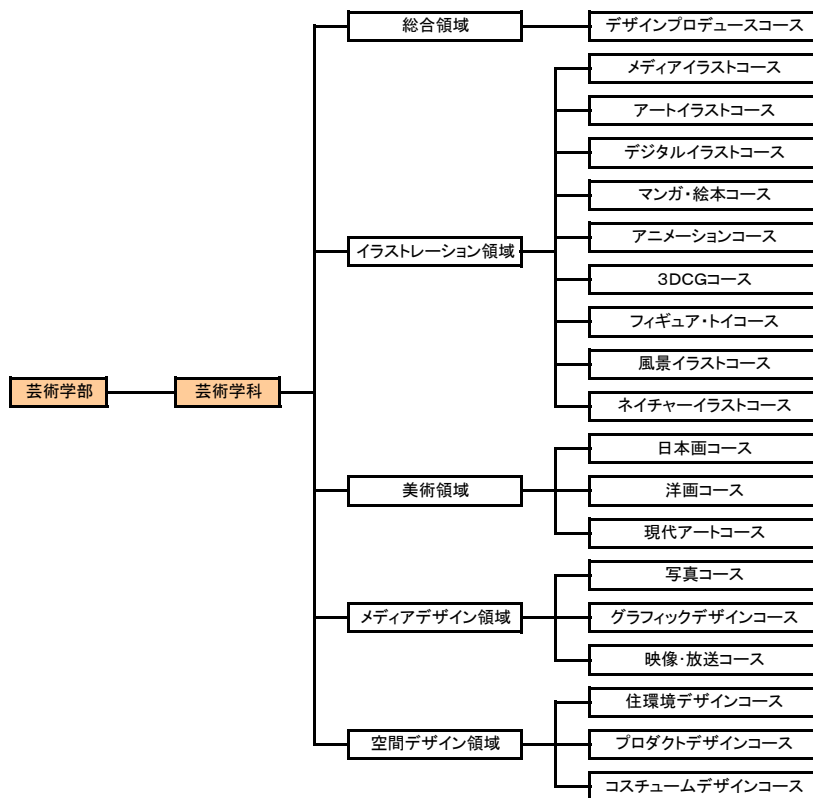
【芸術学部 令和3(2021)年度以降の入学生】



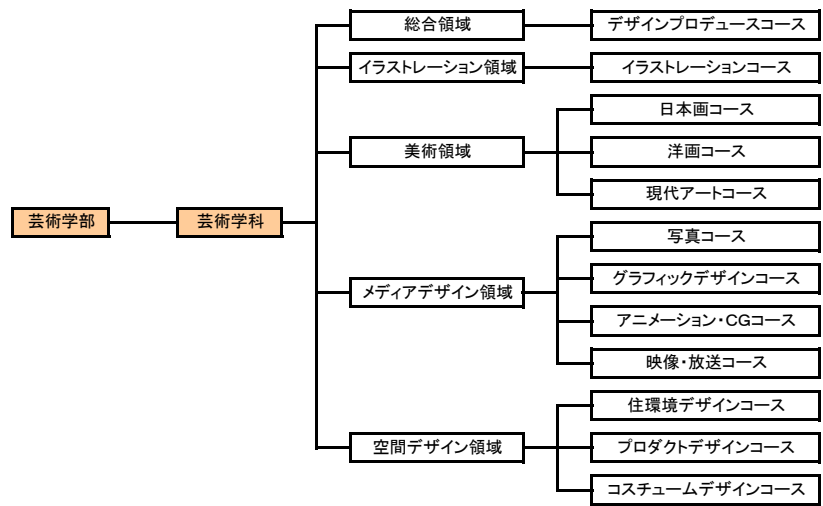
【芸術学部 平成30(2018)年度以降の入学生】



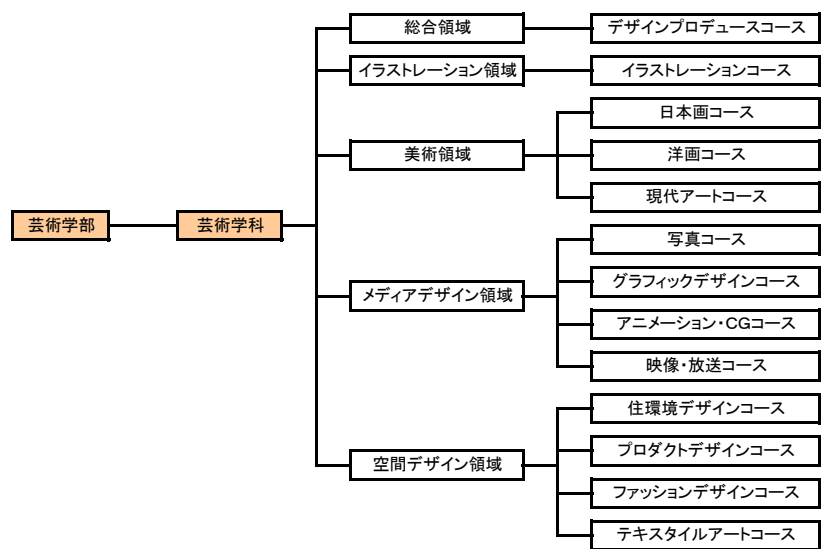
【芸術学部 平成29(2017)年度の入学生】



【芸術学部 平成26(2014)年度から平成28(2016)年度の入学生】



【芸術学部 平成25(2013)年度以前の入学生】



●成安造形大学の目的●

成安造形大学は、デザイン及び美術に関する学術の中心として、広く知識を授けると共に、深く専門の理論、技能及びその応用を教授研究し、人格の完成を図り、国際性に富み、個性豊かな教養の高い人材を育成し、もって文化の創造・発展、産業の発展、国家社会の福祉に寄与することを目的とする。（成安造形大学学則第1条）

●芸術学部芸術学科の目的●

(1) 人材育成目的

建学の精神、校訓、および基本理念(教育理念)の下、芸術分野の専門性と創造性(クリエイティビティ)に優れ、よりよき社会のあり方について主体的に考え行動することができる人材の育成を目的とする。(成安造形大学学則第2条の2)

(2) カリキュラムポリシー(教育課程編成方針)

(1) 習修の順次性を明確にし、芸術分野における実践力、創造力、課題解決力、協働力、および主体的行動力を養成するカリキュラムを構築する。

(2) 1年前期・後期を《専門導入課程》、2年前期・後期、3年前期・後期を《専門基盤課程》、4年前期・後期を《専門研究課程》の3段階で編成する。各科目を「専門科目」と「学部共通科目」に分類する。

(3) 習修成果を、各科目において掲げる学修目標への到達度により厳正に評価する。《専門研究課程》に進むにあたり、主体的に研究を行う能力の有無を見極める進級審査を実施する。

(4) 導入教育を充実させて以後の学びを進めるために必要な汎用的基礎力(協働力および主体的行動力)と課題解決力を養成し、またそれぞれが学ぶ専門分野と密接に結びついた創造力および実践力を確立できる科目を設置する。

a. 「専門科目」では、課程に応じて「専門導入科目群」、「専門基盤科目群」、「専門研究科目群」の3つの段階で履修する。「専門導入科目群」では専門分野を修めるために必要不可欠な最低限の知識や技能を養うための実習科目と演習科目が、「専門基盤科目群」では各自の専門領域の基盤となる知識や技術を修得することで専門性を深く究めるための実習科目と演習科目がある。「専門研究科目群」ではゼミ段階的な履修や選択的な履修をもとに、各自の専門領域にかかわる知識や技術を広く修得することを通して、より高度な表現力や思考力を獲得するとともに、各自が主体的に自律的研究を進め、専門性を深く究めるための科目、卒業研究を設置している。

b. 「学部共通科目」は専門分野の研究やその後の進路を支える広範な学びを提供する科目で、「基礎科目群」、「応用科目群」、「教養科目群」、「社会実践科目群」の4つを大きな柱としている。「基礎科目群」では、4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎的学力を身につけるスタートプログラム科目や芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支える芸術基礎科目、基本的な造形力を幅広く身につけるファウンデーション科目で構成されている。「応用科目群」では、広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を修得するための芸術応用科目を提供する。「教養科目群」には幅広い視点から造形活動を捉えることができる実質を獲得するための教養科目、異文化コミュニケーション能力を身につけるための外国語科目がある。また、単位互換協定を締結した大学、短期大学の科目を受講することもできる。「社会実践科目群」は、社会との関係のなかで自己を確認し、卒業後の自己実現のために寄与する科目群である。地域貢献・プロジェクト科目は、地域社会における実践的な学びで、課題解決力を養う科目である。また、キャリアデザイン科目は、段階的な学びにおいて各自の目標に合わせたキャリアデザインを構築するための科目である。

成安造形大学 教育目標(学士課程の学習成果に関する指針＝学位授与の方針)

成安造形大学は、建学の精神、校訓、及び基本理念(教育理念)の下、芸術分野の専門性と創造性(クリエイティビティ)に優れ、よりよき社会のあり方について主体的に考え行動することができる人材の育成を目的とする。

その実現のために、本学では、所定の課程を修め、124単位の単位取得と必修等の条件を満たしたうえで、以下に示す資質・能力を修得した者に学位を授与する。

(1)実践力

専門分野をいかし、社会の中で実践することができる。

(2)創造力

専門分野における制作によって、獲得した知識・技能・態度等を総合的にいかし成果を提示できる。

(3)課題解決力

課題を正しく理解し、解決策を立て実行することができる。

(4)協働力

多様性の理解を深め、他者とともに行動し、集団や社会のために貢献することができる。

(5)主体的行動力

自分の目標をもち、その実現のために、自らを律しつつ誠意と熱意をもって行動することができる。